

令和7年12月12日(金)

長崎市フォトフェスティバル2025 ～暮らしのそばの世界を見つけよう～ 優秀作品展示イベントを開催中

長崎市と一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会（DMO NAGASAKI）は、この夏、観光マスターブランドである「暮らしのそばに、ほら世界。」をテーマとした長崎市フォトフェスティバルを開催、応募総数977点の中から優秀作品に選ばれた15作品を期間限定で長崎市総合観光案内所で展示しています。

報道関係者の皆さまにおかれましては、数多くの応募作品の中から選ばれた素晴らしい入賞作品を、ぜひ取材をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



開催期間：令和7年11月27日(木)～12月26日(金)
開催場所：JR長崎駅内 長崎市総合観光案内所
応募総数：977点
展示作品：優秀作品3点、入賞作品12点（計15点）

また観光案内所に訪れた方が、優秀作品の中から長崎市らしいと思う写真の横にシールを張って、好きな長崎市の写真に投票いただいております。

優秀作品のご紹介

長崎フォトフェスティバル2025では、テーマを長崎市の観光マスターブランドスローガンである「暮らしのそばに、ほら世界」とし、日常にそっと息づく“小さな世界”を映した一枚が選ばれました。

雑誌「Discover Japan」統括編集長
高橋 俊宏 さんセレクト



長崎くんちにかける男たちの思いが躍動感と共に伝わってきます。

季刊「楽（ra-ku）」発行人
糸屋 悦子 さんセレクト



中島川で行われている夏祭り。夜市の大提灯と川を渉る子供達。美しい風景の中に祭りの賑やかさが伝わってきます。

長崎市まち歩き達人
山口 広助 さんセレクト



今回の「暮らしのそばにほら世界」というテーマ通り長崎の日常と長崎しか見られない日常がこの一枚に納められています。

長崎市フォトフェスティバル2025

暮らしのそばの世界を見つけよう 優秀作品展示イベントを開催中

開催期間 11月27日(木) — 12月26日(金)

長崎市の観光マスターブランドスローガンである「暮らしのそばに、ほら世界」をテーマにした
フォトフェスティバルでは、977点から選ばれた15作品を展示中。坂道や港の光、路面電車、教会と寺院
——日常にそっと息づく“小さな世界”を映した一枚を、ぜひご覧ください。

November 27 (Thu) – December 26 (Fri)



NAGASAKI PHOTO FESTIVAL 2025

Let's put on stickers!

あなたのお気に入り写真を見つけて、
一緒に長崎を盛り上げよう！

優秀作品の中からあなたが長崎市らしいと思う写真の横にシールを張って、
あなたの好きな長崎市の写真に投票しよう。



「Discover Japan」
統括編集長
高橋俊宏さん

「暮らしのそばに、ほら世界。」が鮮やかに息づく作品ばかりで、心から感動しました。くんちのワンシーン、祭りにかける人々の緊張感、夕暮れの眼鏡橋に映る空——どれも、長崎という土地の匂いや温度まで伝わってくるようで、たった一枚の写真から「今すぐ長崎に行きたい」と強く思わせる力強さと優しさに満ちた力作揃いでした。



季刊「樂(raku)」
発行人
糸屋悦子さん

今回の審査では撮影や加工の技術ではなく「人物が写っているか、または人の気配を感じるか」を基準としました。単なる風景の記録ではなく、その場所で生活している人や、そこに存在する「時間の温度」をどう切り取るかによって、見る人の心を動かす力を持っています。人の存在を感じる作品には温かさや物語性があり、心を動かされました。



長崎市
まち歩きの人
山口広助さん

長崎のフォトコンテストは加工しなくても補正しなくてもそのままに絵になる構図が完成する。こういったところが長崎の強みとあっていいでしょう。足さなくていいし、減らさなくていい。そう！ありのままの姿こそが唯一無二の長崎。歴史や文化そして多くの人々が交差した街。そこが長崎！

審査委員

主催：長崎市

このリリースに関するお問い合わせ

DMO NAGASAKI
一般社団法人
長崎国際観光コンベンション協会
企画管理本部 企画課
兼田・高橋

〒850-0862 長崎市出島町1-1 出島ワーフ2階
TEL.095-823-7423
FAX.095-824-9128

<https://www.at-nagasaki.jp/nitca>

